



なかよし



R7年 2月

市野谷つばさ保育園

新年が明けてあっという間に1ヵ月が過ぎる中、子どもたちのかわいい笑顔と楽しく遊ぶ姿に癒される毎日です。

まだまだ寒い日が続きますが、感染症や流行病に負けずに外遊びなど体を沢山動かし、元気いっぱい過ごしていけたらと思います。



3日(月) 節分会
なかよし広場
乳児身体測定

6日(木) 幼児身体測定

15日(土) 成長展

19日(水) ひまわり組卒園遠足

20日(木) 市野谷小なかよし交流会
(ひまわり組)

お誕生会

★10:40 開始予定です。

★避難・消火訓練は日にちを決めずに行います。

2月5日(水)～20日(木)まで、江戸川大学3年勝田悠生さんが保育実習で幼児組に入ります。

移行保育～進級に向けて～

最近2歳児クラスのお友だちが少しずつ進級を見据えて、幼児組のお友だちと過ごしたり幼児組のお部屋で過ごしたりする機会が増えてきました。年長児は就学に向けてお昼寝がなくなり昼食時間も選択制でなくみんな後半の時間に食べ始めています。0歳児クラスのお友だちも自分の好きな遊びや場所を見つけて遊びに夢中になっていたり、1歳児クラスのお友だちは『個々』対『保育者』の関係から少しずつお友だちと同じことをやって微笑み合ったり、お友だちにも興味を示すようになってきました。3歳児は自分のことを最後まで頑張ろうとする姿が見られたり、4歳児は小さい子へのお手伝いの意識が強まってきています。このように、この時期は特に園のあちこちで子どもたちが成長している姿が見られるようになっていきます。

園では各お部屋の机の位置や玩具の種類、玩具をしまう位置、遊びのゾーンの位置など細かいところまでそれぞれのクラスや子どもたちの発達に合わせた環境設定を行っています。そして、定期的に子どもたちの成長に合わせて設定を変えながら保育を行っています。毎年4月になると1つ上の学年に進級するので、生活の場所も変わります。進級してお部屋や全てが変わると慣れない場所での生活で戸惑ってしまうので、少しずつ移行期間として進級に向けて練習をしています。もちろん、大きく環境が変わるのは年度の切り替わりですが、子どもたちが過ごしている毎日の積み重ねが一つずつの大切な成長と繋がるので、徐々に子供たちの成長に合わせた環境を整えていく必要があるというわけです。

進級後はどのクラスの子も1年若返り、毎日積み重ねていく生活の中で少しずつ成長し、1年経つとまた1つ年を重ね、また進級していきます。このように子どもたちの発達は常に連続して起こっているのです。私たちはいつまでも幼いままの援助ではなく、その都度成長している子どもたちに合わせた援助を行っていく必要があります。年度の切り替えのためだけに変わっていくのではなく、子どものその時の姿に合わせて援助も環境も変えていきたいものですね。



2/15(土)に成長展が開催されます。

成長展とは、1年間の「子どもの育ち」を展示したもので、描いたり作った作品展示だけでなく「言葉」「健康」「人間関係」「環境」「表現」の5領域と呼ばれる分野の一人ひとりの成長を見ていただく機会となっています。

今回は「参加型」で親子で一緒に成長を感じながら楽しめる内容となっています♪是非ゆっくりと作品や掲示物をご覧くださいながら、

『何を考えてこれを描いたのかな?』『どんなことが出来るようになったのかな?』

『園ではどんな活動が好きなのかな?』『どんな風にお友だちと楽しんでいるのかな?』

など、普段は忙しくてなかなかゆっくり聞けない様々な疑問を、お子様に直接聞いたり感じてもらう中で、毎日生活している保育園でのお子様の様子を知っていただけたらと思います。もしかすると…保育園での意外な一面や成長を知ることが出来るかもしれません!!園の様子を身近に感じていただき、成長展が親子の会話のきっかけとなればとても嬉しいです。

そして、成長展が1年の集大成ではなく経過として捉えながら、どんどん成長していく子どもたちを保護者のみなさまとこれからも一緒に見守っていきたいと思います。

また今回は特別企画として、描いた絵がプロジェクターに投影される『アートポン』を企画しています★親子で是非ご参加いただき、楽しいひと時を過ごしていただければと思います♡

「その子自身の発達こそが作品である」

【保育目標】

すみれ→・保育者の言葉を模倣して発語し、他児と簡単な言葉のやりとりや関わりを楽しむ。

・手洗いや食事、衣服の着脱など身の回りのことを保育者と一緒に行いながらできる喜びを感じる。

つくし→・保育者や友だちと一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。

・異年齢との関わりを通して年上のクラスへの興味を持つ。

たんぽぽ→・はさみやのりなどの道具を使って、保育者と一緒に楽しく製作をする。

・幼児組児に親しみを感じながら、合同の活動や生活を楽しむ。

ゆり→・自分の気持ちを言葉で表現し、相手の気持ちにも気付く。

・ルールのある遊びを楽しむ。

ばら→・進級する意識を持ち、異年齢児に思いやりを持って接する。

・友だちとのつながりを深める中で、自分の思いや考えを表しながら遊びを楽しむ。

ひまわり→・就学への期待や不安を受け止められながら、自信をもって生活する。

・自分なりに遊びや生活など見通しをもって進める。

